



『庄助さんの酒カステラ』  
山木屋菓子店（天神町）  
笹島正喜さん

白河の地酒（純米酒）を使った香り豊かな熟成和菓子です。ぜひ一度食べてみてください。



『小峰シロの桜蒸しドラ』  
アル・コニーズ（楽蔵）  
有賀幸恵さん

Moe 1 グランプリのお土産部門で準グランプリを受賞しました。ぜひご賞味ください。



完全健康茶『美緑～みりょく～』  
渋木茶舗（本町）  
渋木成さん

お茶の味にも、健康にも“みりょく”がいったいどの完全健康茶をお楽しみください。



『一刀齋ぱうんど』  
白河菓匠大黒屋本店（中町）  
古川陽子さん

齋藤一が生きた時代を想い作った“キシ”のあるさっぱりとしたこしあんがポイントです。



『VIP人力車！白河の名所・史跡巡り』  
白河観光人力車新風亭（大手町）  
遠藤良一さん

“粋な日本の心”で、風情ある城下町白河の名所・史跡巡りをVIP人力車でご案内します。



『ツボに貼るだけ！プチシルマ！』  
プチシルマ健康館白河店（大手町）  
小林利織絵さん

プチシルマの県内唯一の専門店です。肩凝りでお悩みの方など、お気軽にお越しください。



『飛露喜飲みくらベセット』  
スナックじゅん子（中町）  
瀬谷隆志さん

入手困難な日本酒“飛露喜”を贅沢に飲みくらべるセットです。ぜひお試しください。



『とこなめ焼帯アミ急須』  
あいづや（中町）  
赤城涼子さん

帯アミ急須は、粉茶をはじめ、あらゆるお茶を最後の一滴まで美味しく飲むことができます。

2年目第1弾  
**逸品** が次々飛び出す  
白河の専門デパートへようこそ  
◎特集 魅力の「一店逸品運動」

「個人店舗に元気がないと、地域は活性化しない。ならば、個人店舗を元気に」というコンセプトで展開している「一店逸品運動」の第2回が3月からスタートしました。今月号では、2年目の第1弾として、一店逸品運動の内容と加盟店舗をお知らせします。逸品が集まる、まるで専門デパートのような白河のまちなかへぜひお越しください。

**白河まちなか逸品 2年目に向けて Interview**

青森市新町商店街振興組合副理事長 加藤 博さん（アドバイザー）

「白河まちなか逸品」の第2回が3月からスタートし、アドバイザーとして大変喜んでます。まちづくりは、その枠組みを整備しただけで実現するものではなく、地域コミュニティの担い手である地域商業の再生・再構築が不可欠です。

「一店逸品運動」は、各個店の生き残りをかけた事業であり、また逸品仲間が絆をつくることにより少しずつ効果が出てくる運動です。仲間同士、消費者とのコミュニティを創造することで、商店街の存在価値を高めることにつながります。「白河まちなか逸品」が今後さらに発展し、継続していくことを願っています。

本庁舎まちづくり推進課  
☎11111 内2743

白河まちなか逸品  
▲一店逸品運動の加盟店は、このぼりが目印！

- ①白河まちなか逸品巡りツアー  
参加店6、7店舗の逸品を歩いて巡るツアーです。1回目は3月23日（土）に開催します（詳細は20ページをご覧ください）。2回目以降の開催は、5月、7月、9月、11月を予定しています。
- ②一店逸品ちよい飲みツアー  
参加店3店舗で、ちよつと飲んで、ちよつと食べる、夜のお店を巡るツアーです。年間3、4回の開催を予定しています。※詳細は、決まり次第広報白河でお知らせします。また、白河まちなか逸品フェアやそのほか、新しい企画の開催を検討しています。

今年イベントは？  
**逸品巡りツアーやちよい飲みツアーを開催します。**

一人でも多くの方に専門店の魅力を知ってもらうため、次のイベントを行います。

個人店舗が元気になることを目的に、参加店仲間と一緒に、1年間紹介していく逸品を考え、その逸品を通して個人店舗と消費者との交流のきっかけづくりを行います。

具体的には、逸品カタログを作成しPRします。また、それに加え、「白河まちなか逸品巡りツアー」や「一店逸品ちよい飲みツアー」を開催し、専門店のこだわりを消費者に直接伝えていきます。

どんなことをするのですか？  
**逸品のPRや専門店の「だわり」を伝えていきます。**

活動内容は、「店主のこだわり・お勧めの逸品」として発掘・開発します。そして、1年間、この逸品を消費者にお勧めすることを通して、品ぞろえやディスプレイ方法などを総合的に研究し、店舗の自主的な見直しを図り、本場の「専門店」を目指す運動です。

この運動は、平成21年3月に国の認定を受けた市中心市街地活性化基本計画の商店街活性化事業として、昨年3月から始まり、今年で2年目になります。

「専門店」の魅力を発信していく運動です。  
**一店逸品運動とは？**

活動内容は、「店主のこだわり・お勧めの逸品」として発掘・開発します。そして、1年間、この逸品を消費者にお勧めすることを通して、品ぞろえやディスプレイ方法などを総合的に研究し、店舗の自主的な見直しを図り、本場の「専門店」を目指す運動です。

この運動は、平成21年3月に国の認定を受けた市中心市街地活性化基本計画の商店街活性化事業として、昨年3月から始まり、今年で2年目になります。